

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
ご意見などお寄せ願います。

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

第35号 令和元年6月
発行：津房地区まちづくり協議会
事務局：津房地区公民館内
電話：48-2001

年度定期総会を 開催しました

去る5月23日の夜7時半より、地区公民館において令和元年度の津房地区まちづくり協議会定期総会を開催しました。

是永修治市長と大坪一郎安心院支所長を来賓としてお迎えし、祝辞と注力している市政の概要について説明いただきました。

菅原会長の挨拶で始まり、代議員66人中、41人の出席と4人の委任状により、総会の成立要件が確認されたのち、議長に小野正雄氏(丸田)、議事録署名委員に宮本正彦氏(津房郵便局長)と永田雅春氏(榎本)を選出し、早速議事に入りました。

一年間の活動内容の報告に続き、自立運営事業実践活動事業津房温泉運営管理事業毛無尾共有林管理の各会計について事務局より報告されたのち、監事大坪一郎氏による監査報告がなされ、諮られた結果、報告内容は承認されました。



是永市長より市政概要説明と祝辞

令和元年度役員一覧(敬称略)

- 会長 菅原 維範 (尾立)
- 副会長 佐藤 浩一 (五郎丸)
- 小野 芳己 (松本)
- 恵良 孝徳 (東恵良)
- 坂本 昭彦 (津小校長)
- 監事 井福 豊年 (松本)
- 永田 雅春 (榎本)
- 事務局 岡 喜久夫 (榎本)
- 佐藤 淑子 (松本)

【ふるさと振興部会】

- 部会長 田口 憲司 (尾立)
- 副部会長 小野 清一 (丸田)
- 事務局 福田 利文 (榎本)

【ふれあい教育部会】

- 部会長 安部 勝行 (松本)
- 副部会長 濱野 俊久 (六郎丸)
- 事務局 山本 哲也 (萱籠)

【あんしん生活部会】

- 部会長 松久 正男 (若林)
- 副部会長 森田 多津雄 (川崎)
- 事務局 帯刀 寛次 (東椎屋)

【女性部会】

- 部会長 梶原 貴和子 (尾立)
- 副部会長 藤田 弘子 (中間)
- 事務局 荷宮 みち恵 (松本)

【自主防災部会】

- 部会長 佐藤 浩一 (五郎丸)
- 副部会長 遠嶋 洋司 (川崎)
- 事務局 岩男 博之 (榎本)

【自治会代表】

- 北部 綾部 武美 (東恵良)
- 中央 吉武 二十三 (中間)
- 南部 糸長 好則 (萱籠)
- 西部 小野 剛臣 (松本)

網掛けの方が新任です

引き続き、令和元年度の事業計画案、収支予算案、取り組み事業案、一部改選を含めた役員案について審議、原案どおりにて承認されました。

今年度も、高齢者のサポート、地区の生活環境の改善、地区の将来を担う津房っ子がスクスク育つ環境づくりなど、ほとんど従来の事業を継続する内容となっていますが、活動10年目を迎えたのを機に、活動を開始した時に策定した長期計画に替わる「次期10年間の長期計画の策定事業」が加わります。

この長期計画は、15歳以上の全住民対象のアンケートや、津房の次代を思う有志各位による委員会の協議を経て、来年早々に纏め上げる予定です。住民各位のご協力なしでは出来ません。

在りみよく、活気ある津房を目指す当協議会の計画づくりにご協力下さるようお願いいたします。



菅原会長から総括と抱負

当協議会向けふるさと 納税のおしらせ

ふるさと納税制度を利用して、当協議会を指定して寄せていただく「ふるさと納税」ですが、

29年度の370,000円に対し、
30年度は687000円に大幅増加となりました。(24人の方より)

郷土ご出身の方を中心に、津房のことを気に掛けて戴き、応援して下さる方々の思いが詰まった浄財です。

宇佐市より全額が当協議会の活動資金として交付されますので、今期の各事業に配分し、活用させていただきます。

おもに高齢者のサポート事業、津房っ子をスクスク育てる事業、地区のあんしん・安全生活の向上をめざす事業に振り当てています。

市外にお住まいのお知り合いやご家族がいらっしゃる方におかれては、当協議会へのふるさと納税を一層お奨め下さるようお願い致します。

次期まちづくり(長期)計画を策定します ご協力いただける方を大募集しています!

当まちづくり協議会が活動開始してから10年目を迎えました。この間、地区の全世帯を対象にしたアンケート調査や地区内の各種団体の役員さん方による幾度もの協議を経て策定された「津房地区まちづくり計画書」に沿った活動を行ってきました。

ただし、この計画書は活動を開始した平成22年から10年間で対象にしたもので、令和2年以降の次期10年間の計画書を新しく策定し直す必要があります。

そこで、当協議会では次期・まちづくり(長期)計画書の策定に向けた準備を開始したところですが、前回と同様、全世帯へのアンケート調査や、各種団体の役員さん方との協議を通じ、住民各位の幅広いご意見を取り入れた計画書の策定を目指しています。

まずは一連の作業を担当するチームの編成から開始していますが、今後10年間の計画づくりという内容から、当協議会の現在の役員以外のフレッシュな人材にも加わって頂きたい、自薦・他薦を問わず、公募させていただきます。

津房の活性化や活性化を願う心をお持ちの方、ぜひご応募ください! (電話 48-2001 まで)

なお、当作業チームには大分大学・経済学部の山浦准教授とゼミの学生9名が域学連携の実践という立場で、終始参画してもらえます。



参画予定の大分大学学生9人と初顔合わせ



「往來山房」の「亭主」(榎本)より

津房温泉の更衣室内の脱衣かご多数を贈呈して戴きました。早速追加して使用させて頂いており、ご利用者各位より大変喜ばれています。

宮川 義直さん(尾立)より

餅米の贈呈を戴きました。先日催行の東椎屋の滝開きイベントへの参加者にお配りした「ふるまい紅白もち」の材料として活用させて頂きました。

菅原 維範氏(当協議会会長)より
5月23日の定期総会に際し、協賛金として金一封を戴きました